



こんにちは

白子の議会

です

第122号

平成28年11月17日

編集発行

千葉県白子町議会

☎0475(33)2169



▲ 白子中学校で行われた明石祭

第3回 定例会

平成28年第3回定例会が9月16日と23日に開催されました。

一般質問は、6名の議員が町政をただしました。

- 6議員が一般質問…………… 2～7ページ
- 条例の改正等及び補正予算の質疑応答・ 8～9ページ
- こんなことが決まりました…………… 9～10ページ



町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は12月7日から13日の予定です

詳しいことは議会事務局へ。TEL33-2169/FAX33-4132

白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

一般質問

町政をきく

白子町総合戦略について

宗島 理仁 議員

議員 移住・定住促進に向けた「元氣チャージ」白子町観光活性化事業、及び「農業・健康・食育」食の改革推進事業について、現在までの進捗状況を伺います。

取り組みを開始

町長 観光事業については、観光プロモーションDVDの制作、フェイスブックを活用したアプリケーションの構築に着手し、健康分野は、地域農産物の健康増進効果の分析結果に基づき、健康増進食品等の開発を進めております。

海岸侵食について

議員 8月22日に館山市付近に上陸した台風9号の影響で、海岸侵食の被害がさらに拡大してしま

いました。

このような状況の中で、今夏における海水浴客数は例年と比べどのように変化をしたのか、また一刻の猶予も許されなくなってしまった海岸侵食に対し、どのような対策をとっていくのか伺います。

国の直轄事業に向けて

町長 3つの海水浴場の入り込み数ですが、前年から3千人、減少しました。

現在、中里海岸において、整備された駐車場の前面まで侵食されてしまい、更には、ガードパイプまで流されてしまっている状況です。

今後の対策については、南北それぞれに約200m余りの矢板を打ち

込み、これ以上、侵食されないよう工事をする予定です。

これに加え、抜本的な対策は出ていませんが、国の直轄事業化への要望をしています。

若者の定住促進について

議員 若年子育て期世帯において、消費支出が抑制され、節約志向が強まってきています。

このような現状の中で、内閣府は結婚新生活支援事業費補助金を発表しました。

我が町も事業参加への意思表示を示し、若者の定住促進へとつなげていくべきかと思いますが、見解を伺います。

また、結婚から妊娠、出産を経て、子育てまで切れ目のない支援を総合的に推進するためには、地域のニーズに的確に対応することが必要であり、創意工夫を凝らした事業をすべての若者に対し、実施できるようにしなけ

ればならないかと思いますが、見解を伺います。

今後も創意工夫を凝らし

町長 様々な施策は講じ、補助金を活かし、それ以上に成果が上がるものにしたいたいと思っています。

結婚、妊娠、出産、育児に対する支援は、実施する課がいろいろまたがっていますが、関係課が連携を密にすることによって、切れ目ない支援が図られるようにしていきたいと思えます。



空き家対策について

東海林 東治 議員

議員 空き家対策特別措置法が制定され、施行されました。白子町は、空き家対策を具体的に取り組む姿勢があるか、また戸数の掌握と活用如若者定住促進に繋げる総合的、計画的に推進する施策を伺います。



町内の空き家

実態調査と条例化

町長 平成26年度に消防団の協力を頂き、空き家調査の結果、300戸ほどありました。

しかしながら、個人情報 の壁がありました。その後、特別措置法ができ、地方創生の加速化交付金事業の移住、定住促進に向けた「元気チャージ」として、持ち主の意向調査を含めた実態調査に着手します。そして、条例化を図り、空き家の活用促進に繋げていきたいと思えます。



災害対策本部について

議員 台風9号による被害状況及び、災害本部設置の基準設定の根拠は白子町防災計画において、どのように定められているのか伺います。

難問課題に積極的な挑戦

町長 被害総額は、農業被害が約2億円近く、個々の住宅等の罹災証明は57件在りましたが、被害を受けた全戸の把握はしておりません。災害対策本部の設置は、災害を(地震、津波編)(風水害編)(大規模事故編)の3つに分けて想定しております。台風は、風水害編の配置体制が適用されました。災害対策本部の設置基準は設けておりません。設置の有無は、私の判断と責任であります。現場の状況をいち早く把握し、それに伴った判断をしたいと思っております。



被災したビニールハウス

人命的・身体的救命計画は

議員 ライフライン関連施設等の応急復旧計画の記載はありますが、最も大事な、人命的、身体的救命計画の施策が検討されているかを伺います。

避難行動要支援者名簿条例の作成

町長 倒木による最長20時間の停電で、様々な被害を被った事も伺っております。

人工呼吸器の医療機器を持つている人、電話が不通な為、救急車両に連絡がつかなかった人、様々な難問課題が見えてきました。高齢者、障害者を含む、いわゆる弱者の避難方法、救助方法課題で、地域社会の協働が重要視されます。そして、避難行動要支援者名簿条例の作成が必要とされており、危険個所の把握と対応も検討してまいります。

生涯学習の取り組みと課題について

議員 長寿社会に個人生活の質の向上と喜びを見出す高齢者が増えております。

生涯学習の役割は、生きがいの創出で、健康維持、介護予防、絆を作り、孤立化防止、地域社会の活性化、世代間の交流が必要だと思います。

豊かな知識、経験を活かせる居場所や出番を見出す学習参加者のニーズの掌握と高価値の施策を伺います。

生涯学習ハンドブックの活用

教育長 登録団体は61団体です。臨機応変に各団体は、積極的に活動しております。

高価値施策は、専門的研修に講師を招き、保健福祉課、社会福祉協議会と連携を強化して、住民の要望にお応え出来る様検討してまいります。

白子町の人事評価制度は

法定通り実施するのか

石井 和芳 議員

議員 平成 26 年の地方公務員法の一部改正に伴い 28 年 4 月より白子町でも人事評価制度の導入をせざるを得なくなりました。

既に市町村レベルでも能力評定が 89・6%、業績評定で 71・9%が実施しています。当町において 4 月以降実施された形跡は皆無です。本年度 4 月から予定通り実施するかどうか伺います。

町長 28 年 3 月に一応規定は設けました。しかし現状では実施していません。制度であるから導入しなければならぬと思うが、形式的なものだけでなく意味がありません。制度の目的は、職員の資質の向上と頑張った人が報われるということになるわけですが、職員は違った能力と個性を持つ

ています。この小さな役場組織の中で点をつけ評価するのは、難しいと思います。



勤勉手当の支給は一律支給しているのか

議員 白子町には今まで、勤務評定は建前上あることになっていて、課長もその辺については関知していません。

おそらく町長一人で、鉛筆を舐め舐めやっているのだと思われま。これでは人事の公平性が保たず、独断と偏見が幅を利かせることになりま

す。それにより職員の士気は下がり、住民サービスの低下にもつながります。人事評価制度の導入により業績評価の反映として勤勉手当の適正支給を実施すべきだと思えます。

人事評価の導入は、人材育成、士気の高揚、人材配置の適材適所化、上司と部下とのコミュニケーションの良化等、メリットは多くあります。制度の導入により、勤勉手当の適正支給をしていただきたい。

町長 勤勉手当に関しては、格差支給を全くしていないわけではありませ。これも県の動向を注視しながら、今後反映するようにします。

白子町の職員数は適正か

議員 当町においても人口の減少は顕著であります。それに伴い税収、交付税の減少は避けて通れません。今後の人件費の

削減はどう考えるか。又同規模自治体と比較して職員数はどうかであるか伺います。

町長 確かに人口減少が続いているので、職員数も削減しています。ここ 10 年で 30 人削減しています。今後も住民サービスの質を落とさない程度に適正な人員管理をしていきます。

職員の継続雇用は

議員 年金支給年齢の引き上げに伴う継続雇用制度が実施されています。当町でも今後それに伴う人件費の増加圧力にいかに対応するか伺います。

町長 再任用については法制化されており、希望者の任用はしております。バランスをとりながら、適正な人員管理をしていきたい。



人事評価制度の導入への再質問

議員 今までの答弁を聞いてみると人事評価制度の導入に否定的でありま。これは法律違反になるのではないのでしょうか。

町長 確かに制度ですから、やらないわけではありません。結果はやつてもやらなくても同じような気がします。

議員 実際、私自身企業でこの人事評価制度を数年やってきた経験からして、効果は必ず出ます。職員の方も今までが良いと思っている人は少ないと思います。

これを導入しないと白子町は更に遅れてしまいます。

町長 わたしは、町村の組織になじまないとと思うが、よく勉強させてもらいます。

若い夫婦の定住対策について

酒井 良信 議員

議員 今の時代、同居はなかなか難しく、新居住宅が必要であります。町長はどう対策を考えているのか伺います。

人口減少を抑えて、活力あるまちづくりを

町長 町も人口減少をなるべく抑えて、活力あるまちづくりを推進し、地方創生を初め、若者等の定住対策は重要であります。

総合戦略の施策として、若者世帯が住宅取得をする若者マイホーム取得奨励補助事業、住環境対策として、若者定住促進用町有地の無償貸し付け及び無償譲渡制度を、今後も継続して取り組んでいきます。



補助金のアップを

議員 マイホーム取得奨励金が1件当りの最高で五十万円前後では少ないような気がします。もっと金額をアップし、若者世帯が魅力を感じるような制度にすべきだと思いますが、町長の考えを伺います。

お金だけでなく総合的に

町長 長南町では百万円出しても逆に効果が出ていません、人口が減っています。お金だけでないと思います、手厚く子育て支援なり教育の充実をして、総合的にやっていかなければならないと思います。

白子は他町よりやや上を出しています。ご理解いただきたいと思います。

要望

議員 白子町へ若い人たちが住みたいと思うような、もう少し手厚い何か、他町村と違う施策があつていいと思います。

自然豊かでのびのび育てる環境を持つ白子町に思い切つて、家を建てようと思える、喜んで住んでもらえるような魅力あるまちづくりをお願いします。



総合公園を

議員 白子町には、若い夫婦や一般町民が集まる場所がありません。ある程度の広さを持った総合公園をつくる予定はあるか伺います。

計画は不可能

町長 確かに都市公園的なものはありません。総合公園は、用地、財政の問題を含めて、不可能です。

若い人たちが楽しく集うことができるかは、一つのテーマとして考えています。

南白亀川の堤防の欠損

議員 南白亀川の改修は河口から虎橋まで決定しましたが、虎橋から役場の堤防の欠損が多くあり、この対策をどう考えているのか伺います。



順次県にお願いして

町長 災害対策でありますが河口から虎橋までは復興事業でかさ上げが決定し工事が進んでいます。上流ですが、北日当橋まで、県の広域河川改修事業で、順次整備を進めています。

心配されている虎橋の上流、欠損場所については、その都度発見次第、応急措置してもらっています。小さなものは補修工事、大きなものは改修工事です。



ふるさと納税とは！

梅澤 哲夫 議員

議員 ふるさと納税はスタートしてから本年度で9年目を迎えます。

自分の生まれた故郷、応援したい自治体に寄付すると、所得税・住民税が減額されるとともに返礼品がいただける特典もあります。

昨年制度の変更があり、限度額の上限が倍になり、寄附先が5自治体以下であれば確定申告の必要がなくなるなど、取り組みやすくなり応募者がふえているとのこと、町における本年度の取り組み状況について伺います。

返礼は地元産で

町長 当初は非常にわかりづらい制度であったと思っております。近年改善され、利用しやすくなりました。

本年の取り組みですが、

1万円以上の寄附に対し半額程度の返礼品として町の特産品の玉ねぎ、トマト、海産物のながらみ干物セット、観光面での温泉日帰り入浴券、テニスコートの利用券など14品目をそろえています。

全国的な知名度アップへ

議員 全国的には宮崎県都城市の42億円、返礼品の宮崎牛、黒豚、焼酎の人気により一番多く、県内では大多喜町の18億円となっており、返礼品の気度、取り組み行政窓口の温度差により大幅な差があるようですが今後の取り組みについて伺います。



1000万単位を目指して

町長 白子町において億単位は無理かも知れませんが1000万単位の額を目指していきたい。

町内から他地域への納税者は把握した中で、28年度45人の28万円、他地域から町へは、27年度82人の420万円となっております。

周知の取り組みは

議員 制度の始まった平成21、22年は申し込み者ゼロであったようですが国の政策に即対応し結果を出すのは大変かも知れませんが、利用者拡大に向けた周知の取り組みについて伺います。

まず町の周知を

町長 まず白子町を知っていただく、その中で白子ならではの特徴のある返礼品を用意し、ホームページに掲載しもっと周

知を図る意味で、ポータルサイトの積極利用をしていきます。

地場産業との関連は

議員 ふるさと納税制度を生かし地域産業と関連で、農産物として玉ねぎトマト以外の作出、観光商工業の活性化については各種団体と協議してみたいと思っておりますが町の考えを伺います。

アイデア募集中



町長 ふるさと納税制度自体が、これを使って地域起こしを奨励しています。

地域産業とどう関連づけるかですが、特産品のお礼提供で利益が上がりませんが、額、規模はほんの少しです。民間業者も巻き込んで地域産業につながる様なことを模索したいと思っております。

後見人制度って

議員 成年後見人制度として各種障害により判断能力が十分出来ない人の生活・財産管理を支援保護する制度があります。

身上保護を仕事とし、日常生活について、財産管理して年金その他、金銭面についてとっておりまして、この制度について周知はどうかについて伺います。

町長 町における制度利用者は22名いらっしゃいます。

相談窓口である保健福祉課また地域包括支援センターで介護や障害者等の相談を受ける中で制度の案内をしています。



就学援助

入学準備金支給時期の進捗状況は

市川 隆子 議員

議員 就学援助で新たな財源を必要としない制度改善の取り組みとして、新入学準備金があります。

私は、3月議会で、7月頃支給される新入学準備金を実情に合わせて支給できないか質問しましたが、進捗状況を伺います。

また、小学校入学についても入学前に支給するよう考えないのか、見解を伺います。

小・中学校とともに 2月頃の支給検討

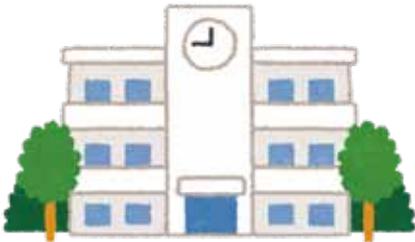
教育長 中学校入学は要綱改正、小学校入学は新しい要綱をつくり対応する予定です。

11月の定例教育委員会議で可決されたら、来年2月頃支給できるよう検討しています。

国保加入者の実状は

議員 国保は、国庫負担の割合が引き下げられ、介護保険分、後期高齢者医療保険分と別建ての保険ができるたびに負担が増え、支払い限度を超えるような過酷なものになっていきます。

国保加入者の平均所得額以下の世帯数、法定軽減世帯数を伺います。
また、平均所得世帯でモデル世帯を想定した場合の国保税負担額を伺います。



平均所得124万
1千円

町長 単純計算で平均所得額は124万1千円ほどで、平均所得以下の世帯は1483件です。

このうち7割軽減が681世帯、5割軽減が279世帯、2割軽減が152世帯で、軽減対象外は371世帯です。

モデル世帯（40歳代で妻が専業主婦、子ども2人）を想定して試算すると、5割軽減対象世帯となり、年間19万9400円となります。

基金等活用し 国保税引き下げの 考えは

議員 以前に同様な質問をしたときに、平均所得は130万円くらいとの答弁がありました。国保加入者は重税感を持って生活している人々がい

ます。
国保の基金は1億2千万円ですが、こうしたもの

も活用して税を引き下げることがないか伺います。

基金活用しての 引き下げはすべき ではない

町長 27年度の決算では、実質単年度収支は赤字となっています。

国の指導では基金は、経済情勢の変動や高額医療費による財源不足、災害発生など緊急支出が必要な場合に備えて積み立てているものであり、保険料の引き下げや給付率の充た等で基金を取り崩すのは適切ではない。となっているので、基金を使つての引き下げはすべきではないと思つています。

認知症予防の 取り組みは

議員 2025年に高齢化のピークを迎え、認知症や予備軍も増えることが予想されます。

認知症の人や家族が安心して暮らせる基盤を整

えることが急務となりますし、介護や福祉制度の充実が根幹になることは言うまでもありません。

認知症、軽度認知障害の方々が住みなれた町で元気に過ごしていくために、どのような取り組みをしているのか伺います。

認知症初期集中 支援チーム設置に 向け準備中

町長 地域包括支援センターが高齢者を対象にした脳トレーニングなどの事業と2次予防事業対象者への事業を実施しています。

また、早期発見、診断し、適切な治療や介護を受けられるようにする、認知症初期集中支援チーム設置に向け準備をすすめているところです。



条例の改正等及び補正 予算に対する質疑応答

若者定住促進用町有地の無償貸付及び無償譲渡に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第4号

【東海林東治 議員】

議員 改正後の「夫婦のいずれかが49歳以下で子を有する者又は40歳以下の夫婦」へ改正でございますが、「40歳以下の夫婦」の前提にも（いずれかが）を記載すべきと思いますが見解を伺います。

町長 文面上繋がりがありませんので「いずれかが40歳以下の夫婦」と解釈して頂けると幸いです。

【宗島理仁 議員】

議員 若者の定住促進について、より人口増対策という側面を持つために、町外の若者に対してPRをしていくことが大切だと思えます。

また、移住のためのメニューや施策を増やし、若者が白子町に興味を持つてもらえるようにすべきだと思いますが、今後、町外の若者を対象にした施策の充実はどのようなものを予定しているのか伺います。

町長 現状のPR不足を反省し、様々な工夫を凝らし活動をしていきたいと思えます。

【板倉正道 議員】

議員 白子中学校南側の分譲地の譲渡については有償なのか無償なのか伺います。

町長 白子中学校南側の分譲地については相当な費用がかかりますので、インフラ整備部分や相応の負担は有ると考えます。



南日当橋橋梁整備工事（上部工）請負契約の変更について

議案第5号

【齋藤鉄也 議員】

議員 この橋梁整備工事は、何も知らないうちに、執行部で決めたことかどうかは分かりませんが、最初に入念に設計・見積り等を依頼して着工し、何故、今回、変更契約で、数千万円の追加工事費が出るのか、説明を伺います。

町長 これは、国の補助金の関係がありましたので、予算の範囲内において当初の工事計画をしていたものですが、その他の橋梁整備に係る必要な工事について予算内での執行が可能となったことから、今回、契約の変更をお願いするものです。

【東海林東治 議員】

議員 南日当橋の追加予算に事業内容の舗装工他5工種の追加予算であります。5工種の内容が明かされていません。執行部

より、議会へ図面、地図を基に、明確なる内容説明を求めますが、見解を伺います。

町長 図面、印刷物をお渡しいたします。

【大多和秀一 議員】

議員 南日当橋橋梁整備工事請負契約の変更について、変更理由と契約の方法について伺います。

建設課長 当初の指名競争入札では、繰越金での発注という事で、予算に限りがあり、主桁の製作及び据え付けのみで発注しています。この結果執行残が発生し国庫補助金の対象にするために、今回契約変更をさせていた

だくものです。舗装工、床版工、地覆工、排水工、橋面防水工伸縮装置の工事を執行残で追加をし、事業を推進していくものです。

追加した工事については必要不可欠なものであり、もし執行残で足りない場合には補正予算を組む形になったかと思えます。

契約の方法については

指名競争入札で落札した業者と、随意契約で進めさせて頂きます。



平成28年度白子町一般会計第2回歳入歳出補正予算について

議案第6号

【宗島理仁 議員】

議員 防災行政無線維持管理事業について、役場庁舎内の耐震性に問題があり、防災行政無線の親機の移設を予定していますが、庁舎自体が倒壊した場合の事務事業をどこでどのように継続していく考えなのか伺います。

町長 役場の全業務を移す場所というのは、今のところありません。

議員 庁舎が被災した場合、制約が伴う状況下にあっても、業務が遂行できる体制をあらかじめ一回検討すべきかと思えます。

また、想定されるべき大規模災害を検討し、業務継続計画を策定するべきかと思いますが、策定する予定はあるのか伺います。

町長 時間はかかりますが、検討していきます。

【東海林東治 議員】

議員 公共施設における災害復旧は保険に入っているのかを伺います。今回の予算書は、保険金額を含めず、全体の工事代金を基に予算の計上されたのか、又後に保険金額が納付された場合は、雑収入か、雑収入のいずれかになるかを伺います。

総務課長 県の共済保険

に入っております。今回の補正予算には、保険からの給付金は歳入に入っておりません。今後保険の金額が確定次第、補正予算の雑入で計上させていただきます。



【市川隆子議員】

議員 防災行政無線の個別受信機を高齢者宅に配布したと思いますが、何軒で希望者のみだったのか伺います。

総務課長 高齢者世帯で

希望があった世帯のみで 473 軒に設置しました。
議員 公有財産購入費は高齢者スポーツ広場用地の購入費となっておりますが、場所はどこか伺います。

町長 場所は、旧関保育

所で、地籍調査をし境界が確定したので、公有地に含まれていた土地を購入しました。

【大多和秀一 議員】

議員 農業基盤整備促進

事業の補正予算の内容と 8 月 22 日の台風と、その後の長雨により、大きな被害をうけた農作物の状況を踏まえて、町全体としての湿地対策について伺います。

町長 整備促進事業につ

いては、補助金を含めて総額 1200 万円で南白亀、白濁、関の 3 維持管

理組合から要望のあった箇所を排水路を整備するものです。

町全体としての基盤整備としては、最も排水が悪いとされる南白亀地区については排水機場の更新、主要排水路及び小排水路の整備を進めます。

白濁地区は古所排水機場の工事が進められており予算確保もされている事からめどがついています。

関地区については、軟弱地盤地域の対応に苦慮していますが、まとめられる方向で事業化できるように進めていきたいと思っています。

【酒井良信 議員】

議員 剃金地区の前川水

門のところの排水機場整備について、以前に要望してから、かなりの時間も経過していますが、進捗状況について伺います。

建設課長 町から県に対

して要望した結果、現状では、長生土木事務所です。便宜的な措置として水中

ポンプでの対応となっております。

排水機場整備の具体的な計画については、町に對してまだ情報提供はされていない状況です。



同意

教育委員会教育委員の任命につき同意を求めることについて

■教育委員会教育委員に次の者が提案され、全員賛成で同意されました。

氏名 大多和直樹(再任)
住所 関 966 番地 1

(関北)

氏名 木原 力(再任)
住所 剃金 2626 番地

1(剃金東)

議案

【議案第 1 号】

白子町税条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

■所得税法等の一部改正に伴い、外国で発生する特例適用利子等又は特例適用配当等を有する者に対し、当該特例適用利子等の額又は特例適用配当等の額に係る所得を分離課税とする規定を追加するものです。

【議案第 2 号】

白子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

■所得税法等の一部改正に伴い、町民税で分離課税される特例適用利子等の額及び特例適用配当等の額を国民健康保険税の所得割額の算定及び軽減判定に用いる総所得金額に含めるものです。

【議案第 3 号】
白子町附属機関条例の一部を改正する条例の制定について（可決）

■ 町長の附属機関として白子町健康増進計画策定委員会を設置するものです。

【議案第 4 号】
若者定住促進用町有地の無償貸付及び無償譲渡に関する条例の一部を改正する条例の制定について（可決）

■ 貸付及び譲渡の対象者の要件の 1 つを、「夫婦のいずれかが 49 歳以下で子を有する者又は 40 歳以下の夫婦」に拡大するものです。

【議案第 5 号】
南日当橋橋梁整備工事（上部工）請負契約の変更について（可決）

■ 6 月議会で議決された契約について、契約金額の変更の承認を求めるものです。

その他議案

■ 平成 28 年度白子町一般会計第 2 回歳入歳出補正予算及び 4 事業特別会計補正予算について審議され、いずれも可決されました。なお、詳細は広報しらこ 10 月号をご覧ください。

決算審査特別委員会

平成 27 年度白子町一般会計歳入歳出決算及び 5 事業特別会計歳入歳出決算の審査を行うため、決算審査特別委員会が設置されました。

今後、委員会を開催し、次の定例会に報告書が提出されます。

決算審査特別委員会委員は次のとおりです。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 板倉 正道 |
| 副委員長 | 梅澤 哲夫 |
| 委員 | 大多和秀一 |
| | 齋藤 鉄也 |
| | 酒井 良信 |
| | 東海林東治 |
| | 宗島 理仁 |

議会行政視察

議会は、10 月 17 日から 19 日まで 2 泊 3 日の日程で、兵庫県及び愛知県に行政視察のため出張しました。

大多和議長をはじめ議会議員 10 名及び林町長、

事務局職員 2 名が参加しました。



神河町議会の安部議長とともに神河町役場の前で

編集後記

記録的な台風の影響により日本列島各地に甚大な被害をもたらしました。我が白子町も公共施設を初め、家屋の損傷や稲刈りの遅れ、農業施設の損傷等多大な被害に見舞われました。

被害にあわれた方々には一日も早い復旧が成されます様心より御見舞申し上げます。

さて町でも地方創生総合戦略の中、長生郡内において一年間での人口減少が町村最多の一五〇人に達してしまいました。

その様な中、白子町議会では去る十月に兵庫県神河町に亙りて行政視察を行ってまいりました。

視察調査内容は『移住定住促進について』、『空き家再生対策について』でした。

今回の研修を通じ、少しでも町の活性化につながる様、議員一丸となって活動してまいります。

板倉正道